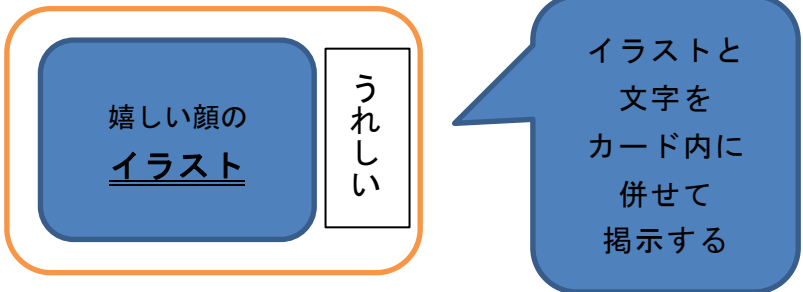


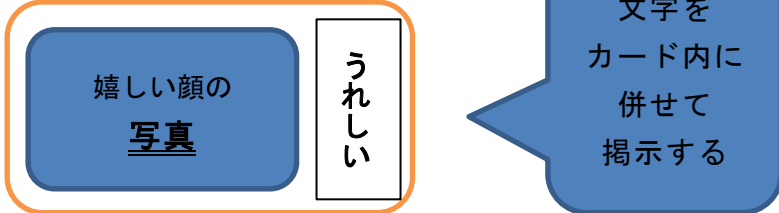
ステップ 1

大項目	①コミュニケーションの基礎的能力
小項目	【1】表情や気持ちをイメージする。
タイトル	表情絵合わせ（絵と写真のマッチング）
目的 身につけてほしい力	・いろいろな表情を知る。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>①いろいろな表情（嬉しい、悲しい、怒る、びっくりする等）の絵と写真をそれぞれ印刷する。（同じ表情のもの）</p> <p>②印刷したものをラミネートする。</p> <p>③カードの形に切る。</p> <p>（例）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="margin: 0;">嬉しい顔の <u>イラスト</u></p> </div> <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="margin: 0;">嬉しい顔の <u>写真</u></p> </div> </div>
教材の使用方法	<p>◆授業で取り組む◆ （一番初めに・・・）</p> <p>はじめは表情合わせに取り組み、表情のマッチングだけで区別ができるようになることをめざす。</p> <p>①絵カードと写真カードが表す気持ちを言葉にしなが、一枚ずつカードを児童生徒の前に並べる。</p> <p>②同じ気持ちを表す表情の絵カードと写真カードをそれぞれ選ぶように促す。</p> <p>③選んだカードの表情が表す気持ちを一緒に言葉で確認する。</p>
その他	<p>* 4枚（絵カード2枚、表情カード2枚）から始め、慣れてきたら少しずつ枚数を増やしていく。</p> <p>* もっと慣れてきたら、制限時間を設けたり、カードを裏向きに置いて神経衰弱（同じ表情を表す写真カードと絵カードを選ぶ。）のように取り組んだりすると、ゲーム感が出てくる。</p> <p>* 児童生徒にそれぞれの表情を作らせて写真を撮影し、表情を作る練習をすると、表情がイメージしやすくなる。</p> <p>* いろいろな人の表情を撮影し、写真のバリエーションを増やすこともできる。（友だちや指導者等、身近な人の写真だと、普段からイメージしやすいかもしれません。）</p>

ステップ 2

大項目	①コミュニケーションの基礎的能力
小項目	【1】表情や気持ちをイメージする
タイトル	絵カードと言葉のマッチング
目的 身につけてほしい力	・表情（絵）や気持ちを表す言葉を知る。
教材の概要	①いろいろな表情（絵）を印刷する。 ②印刷したものをラミネートし、カードのサイズに切る。
材料 作り方 工夫点など 画像	<p>(例)</p>  <p>The diagram illustrates the card-making process. On the left, a blue rounded rectangle contains the text '嬉しい顔のイラスト' (Happy face illustration) with 'イラスト' underlined. To its right is a white vertical rectangle containing the text 'うれしい' (Happy). An orange rounded rectangle encloses both. To the right of this is a blue speech bubble containing the text 'イラストと文字をカード内に併せて掲示する' (Display illustration and text together on the card).</p>
教材の使用方法	<p>◆授業で取り組む◆</p> <p>①絵カードを児童生徒の前に並べる。 ②言葉を聞いて、絵カードを選ぶように促す。（「嬉しい顔はどれ？」「悲しい顔はどれ？」等） ③選んだ絵カードが表す気持ちを、一緒に声に出して確認する。 *イラストのみカードと文字のみカードを用意して、気持ちを表すイラストと文字のマッチングにも取り組むことができる。</p> <p>◆日常生活で取り組む◆</p> <p>①絵カードの裏にマグネットを貼り、小さなホワイトボード（100均に売っています）に貼り付けて、クラスに掲示しておく。 ②それぞれの場面で絵カードを見せながら、「嬉しいね。」「悲しいね。」等と言葉で気持ちを代弁する。</p> <p>◆授業の振り返りで取り組む◆</p> <p>①授業はどうだったか、2～3枚の絵カードを提示して選ぶように促す。 ②選んだカードを基にして、「ぼくは、〇〇が楽しかったです。」「わたしは、〇〇がドキドキしました。」等と手本を示し、復唱する形で児童生徒の発表を促す。慣れてきたら、児童生徒からの発表を待つ。</p>
その他	・クラスの児童生徒は、特に授業の振り返りが好きで、積極的に取り組んでいました。はじめは、一つの絵カードしか選ばなかった児童生徒も、毎日取り組むことで少しずつ他の絵カードを選ぶようになり、絵が表す気持ちを手話や言葉で伝えることができるようになりました。

ステップ3

大項目	①コミュニケーションの基礎的能力
小項目	【1】表情や気持ちをイメージする
タイトル	写真カードと言葉のマッチング
目的 身につけてほしい力	・表情（写真）や気持ちを表す言葉を知る。
教材の概要	<p>①身近な友だちや指導者、家族等のいろいろな表情を撮影する。</p> <p>②表情（写真）を印刷する。</p> <p>③印刷したものをラミネートし、カードの形に切る。</p>
材料 作り方 工夫点など 画像	<p>(例)</p> 
教材の使用方法	<p>◆授業で取り組む◆</p> <p>①写真カードを児童生徒の前に並べる。</p> <p>②言葉を聞いて、写真カードを選ぶように促す（「嬉しい顔はどれ?」「悲しい顔はどれ?」等）</p> <p>③選んだ絵カードが表す気持ちを、一緒に声に出して確認する。</p> <p>*写真のみカードと文字のみカードを用意して、気持ちを表す表情と言葉のマッチングにも取り組むことができる。</p> <p>◆日常生活で取り組む◆</p> <p>①写真カードの裏にマグネットを貼り、小さなホワイトボード（100均に売っています）に貼り付けて、クラスに掲示しておく。</p> <p>②それぞれの場面で写真カードを見せながら、「嬉しいね。」「悲しいね。」等と言葉で気持ちを代弁する。</p> <p>◆授業の振り返りで取り組む◆</p> <p>①授業はどうだったか、2～3枚の写真カードを提示して選ぶように促す。</p> <p>②選んだカードを基にして、「ぼくは、〇〇が楽しかったです。」「わたしは、〇〇がドキドキしました。」等と手本を示し、復唱する形で児童生徒の発表を促す。慣れてきたら、児童生徒からの発表を待つ。</p>
その他	<p>*慣れてきたら、児童生徒にそれぞれの表情を作らせて写真を撮影し、表情を作る練習をする。</p> <p>*いろいろな人の表情を撮影し、表情と表情のマッチングをする練習もできます。（友だちや指導者など、身近な人の写真だと、普段からイメージしやすいです。）</p>